

## 事業計画書

事業名		若者地域参加活動創出事業 ～若者の中間的就労支援は Mamma Café から～
団 体	名称	「倉敷のかあさん」Mamma Café
	住所	倉敷市広江 7 丁目 4 - 4 - 1 6
	遂行責任者	坂ノ上順子

## 1 団体の目的

\* 定款，規約，会則等に定めている目的を，そのまま転記してください。

この会は、いつでも誰でもどんな時も集まれる場所を提供し、話したり聞いたりする中で、癒しの場やコミュニティーの場を作る。特に社会に馴染みにくい子供や若者が色々な体験をすることで自信を取り戻し社会に繋がることを目的としている。

## 2 事業の分野

\* 次のいずれかが該当する分野にをしてください（複数選択可）。

保健，医療又は福祉の増進 社会教育の推進 まちづくりの推進  
観光の振興 農山漁村又は中山間地域の振興 学術，文化，芸術又はスポーツの振興  
 環境の保全 災害救援 地域安全 人権の擁護又は平和の推進 国際協力  
 男女共同参画社会の形成の促進 子どもの健全育成 情報化社会の発展  
 科学技術及び学術の推進 経済活動の活性化 職業能力の開発及び雇用機会の創出  
 消費者保護 団体の運営又は活動に関する連絡，助言又は援助

## 3 現状と課題

## (1) 地域の状況や市民ニーズ

ひきこもりやニート状態にある若者は、自分に自信を無くしている場合が多い。社会参加をしたくてもなかなか一歩が踏み出せない。このような若者たちが、色々な人たちと触れ合ったり、関わったりすることで、また出来ることから少しづつ始めることで自信がつき、アルバイトを始めたりなど、社会参加のきっかけとなる中間的就労の場が必要である。

その若者にも段階がある、それぞれの段階、また色々抱えている諸問題にあった対応が必要である。

倉敷の中心市街地は、高齢化が進み高齢者が孤立化し、老人の引きこもり者が増えて  
いる。また、東町の町内のかたがたとの情報交換及び、連携が必要である。そこで、  
ご近所の方々が集える場所が、必要である。

また、美観地区には、高級な食事が出来る店はたくさんあるが、小さな子どものいる  
家族連れや単身者が、郷土食や家庭料理を安心して手軽に食べられる店が少ない。  
その上、最近海外から観光に来られた方々も多く見られる。海外の方にも四季折々の  
郷土食や家庭料理を通じ、日本の文化に触れて頂くも必要である。

## ( 2 ) 本事業で取り組む地域課題

1. 若者が働く体験のできる中間的就労の場の企画・運営。
2. 地域の高齢者、家族、単身者など誰もが参加しやすい場の継続。
3. 上記 1.2.に資する情報交換の場づくり、他団体との連携の強化。
4. 倉敷の文化、伝統を通じて、若者が参加しやすい形でイベントや季節の行事を行うこ  
とで、地域の方々をはじめ色々な人たちとの関わり方の学び、コミュニケーションの  
向上を図る。

## 4 目的と概要

### ( 1 ) 事業の目的

- ・若者の社会参加のきっかけとなる、地域に開かれた中間的就労の場の提供と継続。
- ・若者の活動経験が働くことへの自信につながる。さらに、いくらかの報酬を手にする事  
で働く意欲にもなり、次のステップへとつながる事。
- ・就労支援へつながるサポートの場づくり、情報交換と連携強化。

### ( 2 ) 事業の概要

倉敷美観地区の町家で「一汁一菜食」にこだわったランチを提供する。その中で「倉敷の文  
化を伝える」ワークショップも開催し、情報交換にもなり、地元の人たちの憩いの場、観光  
に来た人たちとのふれあいの場にもなる。特に社会に馴染みにくい若者たち(引きこもりま  
たはニートと言われている若者)が、ランチ提供やワークショップの手伝いをする、中間的  
就労体験の場を提供する。

また、それぞれの立場や抱えている諸問題にあった対応が、できるように他団体との連携及  
び、情報交換の場所づくりをする。

## 5 受益者と効果

### ( 1 ) 事業の受益者

- ・引きこもり傾向にある若者およびニートと言われている人達とその家族
- ・倉敷市民と町家周辺に住む人達
- ・倉敷を訪れた観光客（最近では、海外からの観光客も多く見られる）

### ( 2 ) 事業の実施に期待する効果

・カフェでのランチの提供を通して若者は、地域の方や観光客と接し、働くことに自信をつけることができる。また、カフェの運営には、いろいろな工程がある。接客が苦手な人には、裏方の仕事だったり、開店前や後の準備・片付け、ご近所への案内をポスティングしたり、チラシ作り、など色々な仕事に携われる。それぞれにできることから、また少しの時間からでも無理のないところで出来るので、少しずつ自信をつける事ができる。それが自立へと踏み出す一歩となる。また、アルバイトの報酬を手にする事で、意欲へもつながる。

その上、海外の方とのかかわりの中から、外国語を学びたい、日本のおもてなしの心など色々な事への興味が湧いてくる。

特に、引きこもりやニートをしている若者という見方を、されないため、彼らが引け目を感じず堂々と行動できるようになり自信につながる。

・「若者を語る会」や「わくわくワーク」の活動など、横のつながり、情報交換、更なる連携強化を図ると共に、「働きたい人」と「就労受入先」とをつなぐサポートとして関わり、次のステップへつなげる。なお、それぞれの課題を持っている若者には、それぞれにあった対応を他団体との連携でつなげていける。

## 6 団体の能力

### ( 1 ) 団体が持つ能力

- ・長年不登校の支援活動に関わる中での経験、ノウハウ、人脈、連携・協力先がある。
- ・不登校経験者の親や本人が多く、ゆっくりと経験に基づいた関わりができる。
- ・カフェのランチに関しては、主婦の集まりなので、健康に良い、美味しい家庭料理が提供できる。
- ・倉敷市教育委員会生涯学習課「生きる力支援事業」委員（坂ノ上順子）
- ・平成 26 年～28 年度 市民企画提案事業 採択
- ・玉島市民交流センターカフェ WAON でのカフェ運営参加（週 1 回）
- ・その他出張カフェなどの実績あり（自主事業）

( 2 ) 能力の活用

\* 課題解決に向けて、団体の能力がどのように役立ちますか。

- ・若者やその家族との交流や町家 café 開催で地元の方達との関わりの中から、カフェやワークショップへの参加を呼び掛けることができる。
- ・岡山高等学院や他の若者支援団体との連携によりそれぞれの諸問題にあった対応ができる。
- ・教育委員会生涯学習課主催「わくわくワーク」事業の協力団体に協力、協賛（28 年度）、保健所にも連携や協賛をしている。
- ・私たちは NPO 法人 KUKKA の会員でもあるため、不登校に関する対応ができる。
- ・地元の年配者から伝統食を教えてもらえる。
- ・家庭菜園をしている方から、野菜など提供してもらえる。

7 事業内容とスケジュール

( 1 ) 事業の具体的な内容

中間的就労の場としてランチ提供のカフェ開催

《就労体験の主なメニュー》

- ・カフェでの調理補助、配膳、接客、レジ
- ・チラシ等の作成補助、配布（ポスティング）
- ・ワークショップの運営協力
- ・掃除、片付けなど

《カフェ内容詳細》

- ・場所 倉敷市東町、NPO 法人倉敷町家トラスト事務所
- ・毎月第 3・4 日曜日 11 時 30 分～15 時 30 分 年間 24 回
- ・体に良い、昔から食されている「一汁一菜食」を中心としたメニューにこだわる。
- ・地産地消、家庭菜園などから提供してもらった材料を中心に使用。
- ・ランチ代金 650 円～+
- ・ご近所のかたへは、100 円お引きする。チラシ及び情報誌を毎月発行（地元の方々には色々とお世話になっているので少しでも利用しやすいようにしている）
- ・ご近所の方への弁当注文と配達

<p>カフェ開催時に 2 回の体験型ワークショップ</p> <p>参加費 第 2 回は、材料費（実費）</p> <p>ワークショップ 若者も参加しやすい形の季節の行事</p> <p>第 1 回「七夕飾りを作ろう」</p> <p style="padding-left: 40px;">倉敷伝承地区をまもり育てる会に協力</p> <p style="padding-left: 80px;">カフェ利用者に七夕飾りを作って、月遅れの地域の祭りを知ってもらおう</p> <p>第 2 回「正月を祝おう」正月用品の作成</p> <p style="padding-left: 40px;">「若者を語る会」3 回開催</p> <p>カフェの紹介も兼ね、居場所としての利用も促す。回を重ねて情報交換や連携組織をつくる。それぞれにあった対応ができる様、連携をしていく。</p> <p>参加費 300 円（お菓子とお茶代）</p> <p>6 月、10 月、2 月の 3 回を予定。</p> <p>四季折々の郷土食をランチメニューに取り入れる。</p> <p>5 月「春の郷土食・春寿司」</p> <p>8 月「夏の郷土食・ぶっかけ麺」</p> <p>9 月「秋の郷土食・祭り寿司」</p> <p>2 月「冬の郷土食・ふな飯」</p> <p style="padding-left: 40px;">地元につながる家庭料理を取り入れる様、心がけている。</p> <p>NPO 法人倉敷町家トラスト事務所は、温かくゆっくりできる雰囲気がある。そこで、色々な人達が集えるコミュニティーの場所作りをする。また、倉敷美観地区にあり、地域の伝統的な文化を伝える事が出来れば良いと思う。これからの運営をしていく上での活動の基盤づくりとして行く事を目的とする。</p>
---

（ 2 ） 事業のスケジュール

4 月	第 3・4 日曜日 ランチ提供のカフェ開催
5 月	第 3・4 日曜日 ランチ提供のカフェ開催
6 月	第 3・4 日曜日 ランチ提供のカフェ開催・「若者を語る会」開催
7 月	第 3・4 日曜日 ランチ提供のカフェ開催
8 月	第 3・4 日曜日 ランチ提供のカフェ開催
	ワークショップ 第 1 回「七夕飾りを作ろう」
9 月	第 3・4 日曜日 ランチ提供のカフェ開催
10 月	第 3・4 日曜日 ランチ提供のカフェ開催・「若者を語る会」開催

様式第 2 号

11 月	第 3・4 日曜日 ランチ提供のカフェ開催
12 月	第 3・4 日曜日 ランチ提供のカフェ開催 ワークショップ 第 2 回 「正月を祝おう」
1 月	第 3・4 日曜日 ランチ提供のカフェ開催
2 月	第 3・4 日曜日 ランチ提供のカフェ開催・「若者を語る会」開催
3 月	第 3・4 日曜日 ランチ提供のカフェ開催

8 目標

内容	現状	目標値
月 2 回のカフェを開催	各回利用者 30 名	現状維持
各機関との情報交換会	年間 3 回以上開催	現状維持

9 受益者負担 団体の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

徴収する (見込み：参加費 300 円 × 20 人 × 3 回 = 18,000 円 )

徴収しない(理由：\_\_\_\_\_ )

10 事業の見通し

\* 2 年後、3 年後といった将来、事業をどのように展開させますか。  
 カフェの開催をする上での経費及び 人件費を、捻出できるようにしていく。  
 月 2 回の開催ではなく、紹介者や理解者、支援者との連絡を密にし、若者が参加できる回数を増やす。  
 各団体との情報交換や連携をする為の場所づくり、基盤づくりをする。

11 他団体との協力

\* 他団体と協力して事業を実施するときは、その団体名や役割を記入してください。  
 NPO 法人倉敷町家トラスト：場所の提供、ご近所の方への呼びかけ  
 NPO 法人 KUKKA：イベント参加、手伝い、若者の就労体験、若者や家族の相談  
 倉敷伝統地区を守り育てる会：伝統文化の伝承  
 高梁川流域ソーシャルビジネス支援センター：自主事業等の相談  
 「若者を語る会」参加団体、就労受入先団体、働きたい人の紹介元リストは別紙添付書類をご参照ください。

12 行政との協働 自主事業コースの団体は記入不要です。

\* 協働する市担当部署の名称，役割，協議をした日及び内容を記入してください。

担当部署名称

- ・教育委員会生涯学習課

市担当部署の役割

- ・広報への協力（チラシ配布など）
  - ・「若者を語る会」への参加
  - ・「ワクワクワーク」での関係企業や、関係団体との連携
  - ・自主事業「生きる力支援事業」での呼びかけ、情報提供
- 団体の役割
- ・事業の企画・運営
  - ・参加者の募集
  - ・成果の測定（アンケートなど）
  - ・記録、報告書の取りまとめ
  - ・経理等、事務一般

協議をした日及び内容

- ・平成 28 年 9 月 30 日 事業内容打ち合わせ
- ・平成 28 年 10 月 23 日 事業内容打ち合わせ
- ・平成 28 年 11 月 14 日 事業内容の確定報告
- ・平成 28 年 11 月 16 日 事業内容の見直し報告

## 収支予算書

## 1 収入の部

科目	内訳	金額(円) <sub>2</sub>	積算根拠
受益者負担	若者の会参加費	18,000	300円×20名×3回
会費からの繰入		79,000	
その他	ランチ売上	456,000	550円×5名×24 + 650×5×24 850×10×24 + 750×5×24 1000円×5名×24回
市補助金		500,000	
収入合計		1,053,000	(支出合計と一致)

## 2 支出の部

科目	内訳	金額(円) <sub>2</sub>	積算根拠
人件費(会員) <sub>1</sub>	スタッフ人件費	32,000	850円×5h×24回×2人
交通費(会員) <sub>1</sub>	スタッフ交通費	18,000	75024
人件費(アルバイト等)	若者のアルバイト・文書管理	259,000	750円×4h×24回×3名 900円×4h×12回
謝金(講師等)	ワークショップ 謝金	10,000	5000円×2回
旅費交通費(講師等)	ボランティア交通費	24,000	500円×24回×2人
消耗品費	案内・メニューなど印刷、ワークショップ・カフェでの消耗品	80,000	紙・インク 20千円 消耗品 50千円 その他 10千円
750印刷製本費	団体紹介チラシ	65,000	
通信運搬費	案内送付	4,000	切手 82円×30枚 + 52円×30枚
保険料	ワークショップ	1,000	保険加入 560円×2回
使用料・賃借料	年間使用料	72,000	2000円 + 1000円(光熱費)×24回
外注費・委託費		0	
対象経費計		565,000	
食糧費	カフェ材料	266,000	食材 300円×30食×24回・消耗品

様式第3号

人件費		172,000	850 円 × 5h × 2 人 × 24 回
その他		50,000	
対象外経費計		480,000	
支出合計		1,053,000	(収入合計と一致)

1: 会員に支払う人件費と交通費の合算額は、対象経費計の1割を上限とする。

2: 金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。